

「高等教育研究」執筆要領 (2011. 4. 1)

「高等教育研究」の論文及び論文要旨の執筆は、次の要領による。

1. 論文原稿は、必ずワープロを使用し、次の点を厳守すること。

- (1) A 5判、横書きで、和文の論文の場合は1頁を34字32行、英文の論文の場合は68字37行で記述する。
印刷は、A 4用紙横置きに2段組で印字する。(ほぼ「高等教育研究」の刷り上りの体裁。)
- (2) 句読点は、和文は、全角の「.」「,」、英文及び引用等で用いる欧文には半角の「.」「,」を使用する。
- (3) 図、表には表題を付し、頁の文字分の行列内に貼り付けるか、論文原稿末尾に貼付し、本文中には挿入すべき箇所を指定する。図、表による字数の減少は、(1)をもとに換算する(本誌2分の1ページは544字に相当)。
- (4) 注は文中の該当箇所に¹⁾, ²⁾, ……のように表記し、論文原稿末尾にまとめて記載する。
- (5) 投稿論文の場合は、「拙著」「拙稿」など投稿者名が判明するような表現は避ける。

2. 引用文献の提示方法は、原則として次の形式に従うこと。

- (1) 文献を示す割注については、全角丸括弧内に「著者の氏^(註1) 出版年: 始頁-終頁^(註2)」の記載を原則とする。なお、「_」は半角スペース、「:」は半角コロン、「-」は半角ハイフンをあらわす。
(注1) 共著の場合は、「第1著者・第2著者」の順に記載し、ナカグロでつなぐ。3名以上の場合は、「第1著者ほか」として「ほか」をつける。編書の場合は、「編者名編」として「編」を入れる。監修の場合は、「監修者名監修」として「監修」を入れる。英文による3名以上の共著の場合は、「et al.」を、一人の編書の場合は「ed.」、2名以上の編書のときは「eds.」をつける。
(注2) 終頁の数値のうち、始頁の数値と同じ上位の桁は省略する。
例: 「…が明らかにされている(山田 1990: 165-9, 佐藤 1993: 259-61).」
「山田(1998)によれば、……」
- (2) 翻訳書、翻訳論文の場合は、「原著者の氏_原書の出版年=訳書の出版年」を原則とし、頁数の記載にあたっては、訳書の頁を用いる場合は、「原著者の氏_原書の出版年=訳書の出版年: 始頁-終頁」、原書を参照して独自に訳出した場合には、「原著者の氏_原書の出版年: 始頁-終頁」とする。

例: 「…と論じている(Smith 1930=1996: 51-64).」

- (3) 引用文献は、末尾に和文、欧文を含めて著者の姓のアルファベット順、年代の古い順に西暦で記し、同一著者の同一年の文献は、引用順にa, b, c…を付し、注の後にまとめて記載する。

〈和文の著書〉

著者氏名^(註1),^(註2), 出版年, 『書名—副題』^(註3) 出版社名^(註4).

例: 山田太郎・鈴木一郎, 1998, 『高等教育論—マスからユニバーサルへ』青山出版。

例: スミス, K. (太田二郎訳), 1998, 『大学史』青山出版。

〈和文の共著(編書)の収録論文〉

著者氏名, 出版年, 「論文名—副題」共著(編, 監修)者氏名『書名—副題』出版社名, 始頁-終頁^(註5).

例: 山田太郎, 1998, 「専門職大学院の登場—法科大学院に着目して」青山和夫編『現代の高等教育改革』鈴木出版, 253-68。

〈和文の論文〉

著者氏名, 出版年, 「論文名—副題」『雑誌名』巻(号): 始頁-終頁。

例: 山田太郎, 2000, 「イギリスの高等教育財政—日本との比較」『高等教育学会誌』3(2): 198-213。

(注1) 共著の場合は、「第1著者・第2著者」の順に記載し、ナカグロでつなぐ。編書の場合は、「編者名編」として「編」を入れる。「第1著者ほか」としてもよい。監修の場合は、「監修者名監修」として「監修」を入れる。カタカナ表記の外国人名については、「氏, 名の頭文字。」(スミス, K.)とする。

(注2) 「,」「.」「:」は半角とし。スペースをあける。

(注3) 書籍に関する第3巻, 第2版, 上・下などの情報は、『書名—副題(第3巻)』のように『 ()』として記載する。

(注4) 文庫名, 新書名から出版社名がわかる場合は, 文庫名, 新書名を出版社名に代替してもよい。

(注5) 終頁の数値のうち, 始頁の数値と同じ上位の桁は省略する。

〈英文の著書〉

著者氏, 名_ミドルネームの頭文字,^(註6) 出版年, 書籍: 副題, 出版都市名: 出版社名。

例: Jackson, Suzanne L., 1976, *College Culture: The Transformation in the 90's*, New York: ABC Press.

〈英文の共著(編書)の収録論文〉

著者氏, 名_ミドルネームの頭文字, 出版年, 「論文名: 副題」共著(編)者名^(註7), 書籍: 副題, 出版都市名: 出版社名。

例：Young, Peter, 1988, "The New Age of Higher Education," Jackson, Suzanne L., Clay, Stacey, and Johnson, Martin S. eds., *Academic Revolution*, Washington D.C.: American Press.

〈英文の論文〉

著者氏_名_ミドルネームの頭文字_出版年_「論文名:副題」雑誌名_巻_号):_始頁-終頁.

例：Young, Peter, 1995, "The New Life for College Curriculum: Assessing Progress in the Reform of Undergraduate Education," *Higher Education Review*, 4 (3): 175-83.

〈翻訳書・論文の場合〉

原典の書誌情報。(=翻訳出版年, 訳者名訳, 【書名-副題】出版社名.)

例：Jackson, Suzanne L. and Young, Peter, 1983, *American Academic Culture*, New York: ABC Press. (=1995, 山田太郎訳, 【アメリカの学術文化】東京出版.)

(注6) 「,」 「:」 「.」 は半角とし, 「,」 「:」 は, 後ろに半角スペースを空ける。

(注7) 共著の場合は, 著者氏, _名_ミドルネームの頭文字. _and_ 著者氏, _名_ミドルネームの頭文字. と「and」でつなぐ。3人以上の場合は, 著者氏, _名_ミドルネームの頭文字. を「,」でつなぎ, 最後の著者名のみ, 「, and」としてつなぐ。

編書の場合は, 著者氏, _名_ミドルネームの頭文字. ed. と「ed.」で表す。複数の編者の場合は, 「eds.」とする。

〈ウェブサイトからの引用の場合〉

・図書・論文の引用

可能な限り上記の引用文献の提示方法にしたがい, URL と最終アクセス日を () 内に記載する。

例：山田太郎, 2003, 「調査のガイドライン」【社会学の方法】東京出版. (<http://www.tokyo.co.jp/shakaigaku/yamada.html>, 2004.12.10.)

例：青木二郎, 2004, 【大学論】文葉社. (<http://www.bunyou.co.jp/dai-gaku/aoki.pdf>, 2004.12.10.)

例：Smith, William, 2003, "Research on Attitude among Japanese Youth," *American Psychologist*, 50: 153-79. (<http://www.apa.org/journals/smith.html>, 2004.12.10.)

例：Green, Robert, 2001, *Advancing Online Learning*, San Francisco: Cal Publisher. (<http://www.calpub.com/green.htm>, 2004.12.10.)

・新聞記事・abstractなどの引用

原則, 図書・論文の引用形態にならうが, 新聞記事については掲載月日と

可能であれば掲載ページを, abstract については (Abstract) と追加記載する。

例：青山雄一, 2004, 「教員のITへの対応は不十分 JASET調査」【毎夕新聞】12.16. (<http://www.maiyu-msn.co.jp/edu/elearningschool/top-ics/news/20041216org00m040073000c.html>, 2004.12.20.)

例：Kurz, Kathy and Scannel, Jim, 2004, "How Should Public Colleges Price Their Product?" *The Chronicle of Higher Education*, December 17, p. B 12. (<http://chronicle.com/prm/weekly/v51/i17/17b01201.htm>, 2004.12.20.)

例：Swidler, Ann and Arditi, Jorge, 1995, "The New Movement of College Education," (Abstract), *Annual Review of Higher Education*, 30: 305-20. (<http://www.annurev.org/series/higheredu/Vol30/co30abst.html>, 2004.10.23.)

3. 論文要旨は, 英文及び和文で, 下記により作成のこと。

(1) 和文の論文の場合

a. 英文は, A 5判, 横書きで, 論文題目を記載し, 要旨本文は68字30行以内で記述。

b. 和文は, A 5判, 横書きで, 論文題目を記載し, 要旨本文は34字10行以内で記述。

(2) 英文の論文の場合

a. 和文は, A 5判, 横書きで, 論文題目を記載し, 要旨本文は34字30行以内で記述。

b. 英文は, A 5判, 横書きで, 論文題目を記載し, 要旨本文は68字10行以内で記述。

4. 論文, 和文要旨, 英文要旨には, 氏名・所属を記さない。

5. 執筆者連絡票を, 下記により作成のこと。

(1) A 4判, 横書きで, 論文題目 (和文・英文), 氏名, 所属, 連絡先 (住所, 電話番号, メールアドレス) を記述。

6. 論文, 和文要旨, 英文要旨, 執筆者連絡票を別々のファイルとして作成のこと。